



# 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

## THE KOHO



# 2

月

Vol. 2.2015.

通巻 No. 350

第 277 号

### 巻頭言

「春はまだ来ず・・・。」

「寒い日が続いています。」とは言っても、沖縄の寒さと他県の寒さとは一味違ったもので、たまに味わうあの寒さは新鮮で刺激的です。その刺激を求めて出張がてら足を延ばすことも。

何度か訪れている東京都文京区にある「湯島天神」は好きな場所の一つです。学問の神様として知られる菅原道真公が祀られ、この季節は合格祈願に訪れる方が多いですが、白梅の花も醍醐味の一つです。梅の花は黒茶色の幹に淡い白～ピンク色の花をつけ、大変美しく、植物たちが意気揚々と春に向けて動き出す様を感じます。

年度末を迎える一歩手前の2月、地域包括ケアシステムや介護報酬改定など多くの情報が駆け巡り、次年度に向けた変化を感じずにはいられません。当協会でも地域包括ケアシステムに向けた事業展開、国際支援事業、学術事業など、2015年は変化と拡大をしていきます。

その世の中の変化に柔軟に対応し、会員一人ひとり、理学療法士がそれぞれの立場で考え、伝え、行動し、活躍できるよう、じっくり足場作りをしていきたいものです。

「東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 主無しとて 春な忘れそ」

お抹茶を頂きながら鶯の鳴き声を楽しみたいものです。ホーホケキョ !!



皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。 事務局長 城間定治

○湯島天神「梅まつり」2月8日～3月8日

## INDEX

巻頭言	P1	献血月間	P7
介護予防従事者研修会	P2	第3次専門家派遣メンバー募集	P8
がんのリハビリテーションはじまります!!	P3・4	教育事務局便り	P8・9
P.T. and body circulation	P4	沖縄県理学療法士協会主催研修会	P10・11
理事会報告	P4・5	関連協会主催研修会	P11・12
各種お知らせ	P6・7	他団体主催研修会	P13
事務局便り	P7	広報部便り	P14

発行:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務所

〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里1丁目4号22番301号 TEL&FAX:098-930-5023

URL <http://www.oki-pt.jp/> E-mail: [optaoffice@oki-pt.jp](mailto:optaoffice@oki-pt.jp)



# 介護予防従事者研修会



会場いっぱい参加者

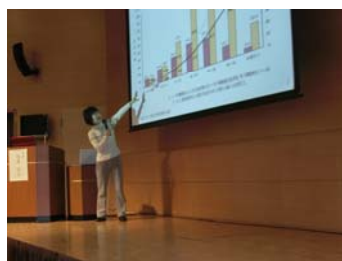
ムーチービーサが身に染みる平成27年1月25日、浦添市のてだこホール市民交流室で「平成26年度介護予防従事者研修会」が沖縄県の主催で開催されました。この研修の目的は介護予防事業の効果的な実施に向け、市町村介護予防事業に従事する者の資質向上を図ることですが、今回は地域包括ケアシステムにおけるリハビリ専門職の活用を促進するため、沖縄県の取り計らいで沖縄県理学療法士協会・沖縄県作業療法士会・沖縄県言語聴覚士会会員の参加が実現しました。当協会からは介護予防推進リーダー導入研修会、地域包括ケア推進リーダー導入研修会を受講した会員80名が参加しました。

研修会では「これからの介護予防～制度改正の背景とこれからめざす姿」というテーマで岡山県保健福祉部長寿社会課の坂井容子先生にご講義頂きました。講義の中では現在の高齢者あるいは要介護認定者の特徴を踏まえ、制度設計に至った経緯が説明され、制度の意味をより深く学ぶことができました。さらに、予防給付におけるリハビリテーションの実状ということでサービス提供の具体的な内容を分析し、本当に必要なサービスは何なのかという問題提起やサービス終結者（卒業）が極端に少ない（数%）現状が理解できました。これは今まで理学療法士が介護保険という大きな枠組みの中で「治療」という一辺倒な考え方しかできていなかった、あるいは予防給付に関わっていなかった結果ではないかと感じました。本当の意味での自立支援をするには様々な働きかけ方が存在し、対象者個人だけでなく、自助や互助といった環境への働きかけもその手段となりうるということです。

平成29年4月までには新しい地域支援事業が各市町村で展開され、地域ケア会議、通所事業、訪問事業が実施されます。その中でリハビリ専門職が期待されていることは、難しくなっている行為の要因と因果関係について見極め、具体的な予後予測（目標設定）することであり、環境設定を含めたリスク管理のもと評価とフィードバックで自立を支援していくことでした。

各市町村で課題が違い、取り組み方法も様々ですが、研修後半には先駆的に取り組んでいる糸満市と北中城村からの報告があり、その後は市町村別に市町村職員とリハビリ専門職がグループワークで「我が地域の資源・特徴と課題」などについて話し合いました。しかし、病院などの施設で働く理学療法士は地域の資源や課題を知らないことが多く、その担当者も知らないのが現状でした。そのためか、話し合いというよりも情報交換会という様子で、短い時間ではあったもののグループワークを通してネットワークの構築ができ、これから始まる新しい地域づくりの第一歩となったのではないかと思います。

本研修の企画運営、当協会会員の参加にご尽力・ご高配いただきました沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課の皆さま、大変ありがとうございました。（文責：城間定治）



講師の坂井容子先生



熱気あふれるグループワーク・取り組み報告会



坂井先生を囲んで集合写真



# がんのリハビリテーションはじまります!!

那覇市立病院 金城孝郎

近年急速な高齢化や生活習慣病の増加により、疾病構造が変化しているのは周知の事実です。会員の皆さん、「がんの2015年問題」というのをご存知でしょうか？これは、「日本人の3人の2人ががんになり、2人に1人ががんで亡くなる時代がきます」と、厚労省が指針を打ちだし、いよいよその時代が到来したということです。

そこで一つ、復習をしてみましょう。「がん（癌）」とは一体なんなのでしょう？簡単に説明しますと、「自分の細胞のコピーミスでできた（コントロールを失った）暴走細胞が、『正常細胞のDNAを傷つけ、栄養を奪って正常細胞を殺す』という、DNAがイレギュラー的増殖（突然変異）するという、非常にやっかいな病気」です。

そのがん細胞を取り除くための手術や、（集学的）治療を受ける患者さん、中長期にわたる闘病生活や有害事象・術後後遺症で心身ともに悩み苦しむ患者さんに、主治医から「移動や歩行能力改善」「廃用症候群予防」目的にリハ依頼がきたとしましょう。ただでさえ、「手術は成功したか？がんは全部取れたか？治療は上手くいっているか？転移は大丈夫？」と、昼夜不安の中にある状況です。加えて、がん性疼痛や疼痛コントロール不良、あるいは倦怠感で動きたくても動けない、進行する悪液質で体力がなくなりつつある身体的苦痛と向き合っている状況です。その中で、早期離床を目標に「車イス離床～リハビリ室案内」、足腰強化のために「とりあえずスクワット10回」、「ご飯が食べられるように（お腹を空かす目的に）、リハビリ頑張らないと！」等、訓練や指導ができますでしょうか？

仮に介入できたとしても、「リハビリしたらキツイ、リハビリしたら足が痛くなるから嫌！」とか「リハビリ難儀だから、もうやりたくない」など、患者・家族から伝えられたこと、病棟看護師さんから代弁を受けたことはありませんか？

実際の臨床場面で、がん患者さんに対して従来のアプローチではどうも上手くいかない、介入が難しい、継続できない、はたまた活気がなく、気持ちが落ち込んでいる患者さんにどう接していいかわからない等、訓練方法や対応で悩んでいるリハ技師も少なからずいるかと思います（私も毎日患者・家族から学び、日々考えさせられる臨床です）。

ここで、話題を変えましょう。『地域包括ケアシステム』は、いうならば、高齢者にその日常生活圏内で、さまざまなサービスをトータルで提供する体制のことです。さまざまなサービスとは、（1）住まい（2）医療（3）介護（4）予防（5）生活支援の5つを分断して提供するのではなく、全てを一体として考え、利用者のニーズに合わせた切れ目のない支援です。JPTAも「地域包括ケアシステムの推進」や「人材育成」のための研修会を始めているのはご存知かと思います。内部障害系であるがん（癌）も「特別な病気」ではなく、糖尿病や認知症と同様に「身近な病気」として存在し、「身障」「老人」「精神」「発達」といった分野を問わず、また「医療機関」「在宅」「施設」といった場所を問わず、県民の日常生活やQOLを脅かします。

厚労省は、『日本全国がん医療の均てん化』を命題に、「がんリハの基礎的知識と技術の習得」「チーム医療を実践できる人材育成」の教育の場として、『がんのリハビリテーション研修会』を開催しています。現在、JPTAやライフ・プランニング・センターを主とした、がんリハ算定と施設基準認可のための研修会が本土各地で開催されていて、沖縄県内でも13施設の病院が受講し、がんリハを導入しています（平成26年12月現在）。

今後リハ技師が医療・福祉・介護界に、早期診断や治療技術の進歩により延命化した、がん患者（がんサバイバー）の訪問リハや地域リハ、終末期がん患者のターミナルケアにどのように関わられるのか、地域包括ケアプランのなかでのPTの立ち位置はどこなのか、落としどころは

## 原病の治療とサポータティブケアのバランスが大切



引用図：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「がんサポータティブケア」HP

どこなのかを、更に意識的に取り組む必要性もあるかと考えます。

「でも、がんリハって一体何するの？学んだリハビリと何が違うの??」「患者・家族とどう関わればいいのか、喋っていいのか対応が難しい」「末期の介入はどう考えたらいいの?」「がんリハ算定や施設基準を取るにはどうしたらいいの?」「病院でどう取り組み、何から発信したらいいの?」「チーム医療とは?多職種・超職種アプローチって何?」等々、がんリハに興味がありながらも、これから取り組む会員は各々に疑問が、現在実践している会員には、アプローチの迷いや臨床への不安があるかと思えます。そのためのヒントをもらえ臨床に生かせる、がんリハの最新の知見や今後の動向を教授できる講習会が、今月2/11に開催されます。※ 教育学術局便り参照

私も「在宅医療を支える人のための研修会」で、身体及び生活機能を評価するにあたり、病室や自宅に足を運び、観察し（視診・触診・モニタリング）、全体像や活動状況、生きがいや役割を知ること、『生活現場をイメージできる情報』を、主治医や担当者会議で『具体的に提示』することが大切であると改めて教わりました。それこそリハ技師の専門職たる手法の一つであり【全人的復権を第一に考えQOLを尊重する】という、リハ理念・リハ役割ではないでしょうか?がんリハは、あらゆる病期（予防期・回復期・維持期・緩和期）に必要であり、対応可能だと思います。一緒に考えてみませんか?賛同いただける皆様のご協力と、積極的なご参加のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

## *P.T. and body circulation* 理学療法と身体循環

by Daniel Mardon

2015年が始まった。私は、新しい年が沖縄、願わくば日本全国の理学療法業界にとって決定的な年になることを願っている。私は与那嶺司先生に出会えた事、日本で私のテクニックを伝える事を可能としてくれた素晴らしい理学療法士と作業療法士の方々に大変感謝している。

この2年間、高橋結子先生と私は琉球リハビリテーションアカデミーでリンパドレナージュを教えながら、私はフランスと日本の理学療法の違いを実感している。最も大きな違いはフランスの理学療法士はマッサージに関与しており、“マッソキネジセラピー”と呼ばれている専門職である。“マッソキネシーセラピー”とはまさに“マッサージと運動療法”という意味である。（キネシーとはギリシャ語で運動という意味）

日本やアメリカとは異なり、フランスではマッサージ療法を行うことはマッソキネジセラピスト（M.K.）にだけ許されており、エステやサロンなどで施術することは禁止されている。言うまでもなくフランスやヨーロッパの大半では理学療法の可能性は広く、日本やアメリカのように理学療法の治療区分が限られていない。例えば、フランスではリンパドレナージュは専門職ではあるが、理学療法士の資格を有すれば誰でも循環治療のスペシャリストになる選択肢がある。

私の日本の学生達はフランス、カナダ、アフリカ、南アメリカなどで行われているMK（マッソキネジセラピスト）が施術しているマッサージは理学療法の一環であり、循環治療もその一部であると理解している。ほとんどの患者は炎症に苦しんでいる事は容易にわかるであろう。炎症というのは浮腫、疼痛、腫脹の合併症状である。論理的な介入は、まずマッサージや循環治療を用いて神経、筋肉、関節機能を集中的に治療する事である。

結論として、理学療法は骨や神経、筋組織の治療に限定するべきではない。理学療法士は四つの循環システム（動脈循環、静脈循環、リンパ液循環、そしてマイクロ循環）を無視するべきではない。血液は毛細血管に辿り着くと、血漿の1部は毛細血管から染み出し組織液となる。そしてその液体の1部はリンパ管に回収され、このリンパ管の中に入った液体をリンパ液という。血漿は組織液に混ざり、組織液中の毒素や老廃物がリンパ管に回収される。その後リンパ節で濾過され綺麗になった状態で鎖骨の所にある静脈角で静脈血に注ぎこまれていく。このように、リンパ液は血液と連携しながら循環しているため、とても重要である事がわかり、理学療法士は循環治療に真剣に取り組むべきである。

高橋結子訳

### 理事会報告

[平成26年度 第10回理事会]

日時：平成27年1月14日（水） 19：00～21：30場所：翔南病院（〒904-0034沖縄県沖縄市山内3-14-28）

第1号議案 入会の承認に関する件（事務局）

議案内容	【入会申請者】計2件 【会員動向】平成27年1月14日現在※連絡不能者含む 会員数：1382名 施設所属会員数：1246名 自宅会員数136名 会員所属施設数：233施設 [期間会員動向]平成26年12月11日～平成27年1月14日※協会承認済 異動：11名（県内：10名 転入：1名 転出：0名）休会：2名※休会継続含む 退会：0名 復会：0名	
審議結果	全会一致で承認 担当局：事務局 担当部：総務部	

第2号議案 第17回沖縄県理学療法学会大会開催について

議案内容	第17回沖縄県理学療法学会大会開催にあたり、①通年開催月の変更についてご審議いただきたい。	
審議結果	結果：可 29年までに適切な開催月検討→2月開催を検討 担当局：学術大会実行委員会 担当部：	

第3号議案 会費割引制度について

議案内容	日本理学療法士協会のシニア会員・育児休業会員割引制度導入に伴い、当協会でも同条件での適応とし、人材の確保、対象者の社会参加の機会の確保をしていきたい。導入可否および条件、導入時期をご審議いただきたい。	
審議結果	割引制度導入、割引条件、導入時期、他の割引について継続審議 担当局：事務局 担当部：総務部	

第4号議案 入会金の料金設定について

議案内容	平成26年度までは入会金を0円とし運営してきたが、新入会員にかかる経費を考慮したことや平成25年度会計監査の指導事項であること、平成26年度理学療法責任者会議にすべてのブロックで賛同が得られたことを踏まえ、平成27年度から入会金を増額し安定的な協会運営をしたい。入会金増額の可否及び金額をご審議いただきたい。	
審議結果	入会金増額について可 金額5000円にて全会一致で承認。理事会承認事項として総会に提議。 担当局：事務局 担当部：総務部	

第5号議案 厚生分野に係る平成27年秋の叙勲ならびに褒章候補の推薦について

議案内容	沖縄県保健医療部より、厚生分野に係る平成27年秋の叙勲並びに褒章候補の推薦について依頼文が届いています。推薦についてご検討をお願いします。	
審議結果	該当者なし 担当局：事務局 担当部：総務部	

第6号議案 沖縄県脊髄損傷者協会 新年会&30周年記念イベントについて

議案内容	沖縄県脊髄損傷者協会より、新年会&30周年記念イベントのご案内が届いています。出欠の有無についてご検討宜しくお願い致します。 開催日：2015年1月24日（土）時間：18:30～20:30（18:00受付開始） 場所：ピアレストラン ケニーズ(プラザハウス3階)	
審議結果	金城理事出席 担当局：事務局 担当部：総務部	

## 沖縄県理学療法士協会スケジュール 平成27年 2月・3月・4月

2月	8日（日）	第5回沖縄理学療法講習会
	11日（水・祝）	第4回沖縄理学療法講習会
	15日（日）	平成26年度臨床実習・教育指導者研修会
	21・22日	九州ブロック現職者講習会
3月	7・8日	訪問リハビリテーション実務者研修会
	8日（日）	第6回沖縄理学療法講習会（宮古ブロック開催）
	21日（土）	平成26年度臨床理学療法研究会
	28日（土）	第7回沖縄理学療法講習会（八重山ブロック開催）
4月	25日（土）	新人・異動会員オリエンテーション

### 地域包括ケア・介護予防推進リーダー登録に関する指定事業の補足説明

12月に開催された地域包括ケア・介護予防推進リーダー養成導入研修会には多くの方に参加して頂き誠にありがとうございました。研修を終え、参加者の皆さまは指定事業登録申請をしているところだと思います。この指定事業について、多くの問い合わせがありましたので補足説明いたします。

指定事業①～⑱は沖縄県理学療法士協会が主催する事業ということが基本となります。お問い合わせの多い、指定番号⑧「県内市町村主催健康まつり出展の運営」についても当協会が出展する事業ということになります。お間違えのないようお願い致します。



# 会員の皆様へ 日本理学療法士協会から重要なお知らせ

## 役員選挙のお知らせ（日本理学療法士協会）

本会役員選挙が下記の日程で開催されます。会員各位の周知と投票をお願い致します。尚、投票は日本理学療法士協会のHPからお願いします。

投票期間：平成27年2月7日（正午）～22日（正午）

本会HP 役員選挙ページURL：<http://goo.gl/My9aB4>

## 休会期間終了に伴う各種申請手続きのお願い

平成26年12月31日以前に休会手続きされております皆様の休会期間満了日は、一律に【平成27年3月31日】（今年度末）となっております。つきましては、休会継続（更新）、復会、または退会について、いずれかのお手続きをお願い致します。平成27年度（平成27年4月1日～）の休会をご希望の場合は、休会継続（更新）の手続きが必要となります。

平成27年3月31日までに手続きがない場合は、自動退会とさせていただきます。自動退会とさせていただきます場合がございますのでご注意ください。

※退会となった場合、生涯学習の履歴は無効となり、再入会時には再履修頂く必要があります。

## 会費割引制度開始のお知らせ

### 2015 年度より 会費割引制度 が導入されます！

このたび、2015年度年会費より「育児休業割引」と「シニア割引」が導入されることになりました。対象の会員様におかれましては、ぜひご活用頂ければ幸いです。詳細をご確認の上マイページよりご申請ください。

#### 育児休業割引2015年2月中旬～受付開始予定

育児休業期間中に割引申請を行った会員について次年度会費を割引する制度

■割引額通常金額11,000円→割引後3,000円（会館建設積立金1,000円を含む）

※都道府県理学療法士会年会費については各士会の定めるところによる

■申請可能対象者・育児休業期間中の会員

・割引適用年度に在会であること

・申請時及び割引請求時において、年会費・セミナー費を含む全ての請求が納入済であること

■申請必要書類育児休業給付金支給決定通知書コピー（ファイル形式でWEB申請時に添付）

■割引適用年度申請年度の翌年度年会費に適用

ただし、休会者は復会申請をした者のみ、復会年度（当該年度支払済の場合は翌年度）に適用

■備考・夫婦で同一の乳児に対しても各々が育児休業を申請している場合はそれぞれに割引を認める

・同一年度に他の割引との併用不可、複数該当する場合は割引率の高い方を優先する

・県外異動した場合は請求時に所属の都道府県理学療法士会の割引を適用する

・休会者は、復会申請と同時に割引申請を行う必要があり、復会申請を行うまでに育児休業期間が終了した場合は申請できない。

#### シニア割引2015年2月中旬～受付開始予定

満65歳以上かつ会員歴25年以上の在会会員で割引申請を行った者について、以降の年会費を割引する制度

■割引額通常金額11,000円→割引後3,000円（会館建設積立金1,000円を含む）

※都道府県理学療法士会年会費については各士会の定めるところによる

■申請可能対象者・申請年度及び割引適用年度に在会であること

・申請時及び割引請求時において、年会費・セミナー費を含む全ての請求が納入済であること

■申請必要書類なし

■割引適用年度申請年度の翌年度年会費より適用開始、以降自動継続

■備考・会員歴に休会期間は問わない

・割引申請は申請年度の4月1日時点で満64歳以上、会員歴24年以上から可能

- (割引適用は申請翌年度の4月1日時点で満65歳以上、会員歴25年以上の会員とする)
- ・割引を取消したい場合は割引取消申請を行うことができ、その後再度割引申請を行うことも可能
  - ・年度末に未納が発生していた場合は、次年度は自動的に割引取消とし未納分も通常金額となる
  - ・同一年度に他の割引との併用不可、複数該当する場合は割引率の高い方を優先する
  - ・県外異動した場合は請求時に所属の都道府県理学療法士会の割引を適用する

## 2015年2月中旬より申請受付開始予定！

※その他のケースや、詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご確認ください。  
公益社団法人日本理学療法士協会 <http://www.japanpt.or.jp/>

### 事務局便り

■■■要注意■■■異動申請 お手続きをお願いします！

勤務先、自宅、氏名など会員情報に変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

会費納入について ※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。両方に登録のない方へは協会本部よりコンビニ振込用紙が送付されています。支払期限を確認のうえ速やかに納入して下さい。領収書が必要な方は直接日本理学療法士協会 (FAX:03-5414-7913 E-mail:jpta@i.bekkoame.ne.jp) へお問合せ下さい。

※会費未納者への周知依頼

残高不足や振込用紙の未確認のため、ご本人の知らないうちに会費未納による退会になる可能性があります。退会になると研修などの履修によるポイントを失い、参加費などの優遇を受けることができません。会員同士で今一度確認をお願いします。

会費に関する問合せ 沖縄県理学療法士協会財務担当理事：運天智子 E-mail：[optazaimu@gmail.com](mailto:optazaimu@gmail.com)



### 大事なお知らせ

会費納入に関して、日本理学療法士協会から送付されている払込票を使用し、郵便局のATMやネットバンク等をご利用頂いた一部の方で、正常に入金確認ができない方法でお振込されているケースが判明しております。

マイページの決済履歴をご確認頂き、振込日より1週間以上経過しても「入金済」でない場合は、振込日等のわかる控えをご用意の上、日本理学療法士協会事務局へご連絡ください。今後納入予定の方は、決して「郵便振替代行センター」の口座番号を入力して直接送金等されないよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 平成26年度 献血強化月間 ご協力をお願い

平成26年度 沖縄県理学療法士協会 社会職能局 渉外部事業

～献血でつながる命があります～ (日本赤十字社スローガン)

13年前より“若者の献血減少が続く”と、新年早々の新聞・ラジオで報じられたことをご存知でしょうか。当会が、献血推進の取り組みを開始し8年が経ち徐々にこの活動が周知されて来ているように感じますが、まだ十分ではありません。献血は個人の行動ですが、当会が組織的に活動を展開することで大きな力となり社会を動かす風を起こすことが出来るのではないかと考えます。

献血でつながった命を私たちのリハビリテーション力で元気にしよう。

実施目的：沖縄県の血液在庫状況を安定させ、県民の救命・健康維持に役立てる。

開催期間：平成27年2月1日～2月28日の1ヶ月間

献血場所：くもじ献血ルーム、移動採血車

ジャスコ具志川店・北谷店 (日曜日午後に移動採血車が配置)

対象者：沖縄県理学療法士協会会員と目的に賛同する全県民

問合せ先：ファミリークリニックきたなかぐすく TEL：098-935-5517 (通所リハビリ：宮里)

## 第3次専門家派遣メンバー募集

### 「フィジー・沖縄リハビリテーションアイランドプロジェクト」

#### 第3次専門家派遣メンバーの募集について

2014年6月から開始された本事業は、皆様のご協力もあり1年目の予定を無事終了する事ができました。フィジー人の研修生も自国での伝達講習や研鑽に励んでおり、多くの成果をあげています。さて、2015年4月からは更なるステップアップとして2年目の活動が開始される予定です。4月の専門家派遣、8月の沖縄臨床技術研修、12月の専門家派遣を通してプロジェクトを進めていきます。今回は3次専門家派遣のメンバーを募集しています。国際協力・支援に興味のある方は下記までお問い合わせ下さい。

【事業名】第3次専門家派遣

【派遣目的】フィジー人研修生のフォローアップとプロジェクト評価、脳卒中急性期のチームアプローチやリスク管理について指導を行う

【日時】2015年4月中旬から5月初旬頃（1週間程度）

【派遣先】フィジー国（CWM病院、他）

【申込及び問合せ先】

沖縄県理学療法士協会 社会職能局 国際支援部（喜屋武） intlopta@gmail.com

【申込内容】件名に「3次専門家派遣申込」とご記入下さい。

本文に、①氏名 ②所属先 ③専門分野 ④連絡先（電話番号、E-mail address）を入力して上記アドレスに送信してください。

申し込み後に「専門家派遣応募用紙」を送信します。書類選考後に面接等を行います。

【応募締切】2月20日（金） 13：00まで

## 教育学術局便り

### ■■公益社団法人沖縄県理学療法士協会主催■■平成26年度 沖縄理学療法講習会

#### 第4回講習会 内部障害 がんのリハビリテーション

がん患者の各病期・治療過程で生じる身体・生活機能障害に対する理学療法分野の取り組み、緩和ケア主体の時期の役割等、実際の関わり方が学べます。最新の知見、今後の動向を得るチャンスを見逃さずに!!

日時：平成27年2月11日（水） 10:00～13:00

会場：那覇市立病院 3階講堂（定員100名） ※定員に達し次第締切ります

テーマ：「がんのリハビリテーション ～概要と動向～」

講師：高倉保幸（埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科 学科長・教授）

受講費 会員2,000円、会員外5,000円

締切：平成27年1月25日（日）迄

備考：新人教育プログラム未修了者 → 「C-3 内部障害の理学療法」に読替 1単位取得  
新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイントが取得

#### 第5回講習会 地域リハビリテーション

平成27年度介護報酬改定を前に、地域包括ケアを踏まえた通所リハビリテーションの方向性について有益な情報が得られると期待しております。多くの従事者のご参加をお待ちしております。

日時：平成27年2月8日（日） 10:00～16:00

会場：ちゅうざん病院（定員100名） ※定員に達し次第締切ります

テーマ：「地域を支えるリハビリテーションとは？地域包括ケアシステムで求められる通所リハ」

講師：岡野英樹（医療法人真正会）

受講費 会員無料、会員外5,000円

締切：平成27年1月24日（土）迄

備考：新人教育プログラム未修了者 → 「C-4 高齢者の理学療法」

「C-5 地域リハビリテーション」に読替 1単位取得

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイントが取得

### ■■沖縄理学療法講習会に関する説明事項■■

1. 理学療法士を含む医療従事者を対象とした講習会です。
2. 生涯学習システムの「単位読替え」や「ポイント付与」が認定された講習会です。

※「日本糖尿病療養指導士」ポイント付与認定講習会です。



3. 講習会への参加を希望される方は、メールにてお申込みください。



【宛先】 ptgaku@gmail.com

【件名】 「第〇回 沖縄理学療法講習会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③所属名、④メールアドレス、⑤職種（PT以外の職種）

※④個人設定により受信されない場合があります。個人設定についてご確認ください。

※⑤理学療法士以外の職種の方のみ、ご記入ください。

4. お申込み頂いた後に、担当者から受講可否の連絡を差し上げます。締切日までに連絡がない場合は、メールにてお問い合わせください。

【問合せ先】 与那原中央病院リハビリテーション科（研修担当：平山良樹）

TEL：098-945-8101/FAX：098-945-8106

5. 講習会へ参加される場合、「会員証」をお持ちいただくと受付の手続きが簡単になります。

6. 受講費は、両替作業の削減及び手続き時間の短縮化を図るため、「お釣りが無いように！ 準備をお願いします。

7. 生涯学習に関する質問やお問い合わせは、休憩時間をお願いします。

質問内容は、「問い合わせ書」に記入して提出してください。後日ご返答いたします。

※「問い合わせ書」→沖縄県理学療法士協会ホームページ（会員の方のみ）

### 第6回講習会

日 時：平成27年3月8日（日） ①9:00～12:00 ②13:00～16:00

会 場：仮 宮古島リハビリテーション温泉病院（定員30名）

①テーマ：仮 「運動器(膝関節)の理学療法」

講 師：調整中

備 考：新人教育プログラム未修了者→ 「C-2 運動器疾患の理学療法」に読替1単位取得

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイント取得

②テーマ：仮 「高齢者の運動処方・循環器のリスク管理」

講 師：調整中

備 考：新人教育プログラム未修了者 → 「C-3 内部障害の理学療法」

「C-4 高齢者の理学療法」に読替1単位取得

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイント取得

受講費：会員2,000円（1テーマ 各1,000円）

【申込先】 pt\_miyakojima@yahoo.co.jp

【件 名】 「第6回沖縄理学療法講習会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③勤務先、④メールアドレス

【問合せ先】 老人介護保健施設 栄寿園（担当：砂川真利香）

### 第7回講習会

日 時：仮 平成27年3月28日（土） ①15:00～18:00、3月29日（日） ②9:00～12:00

会 場：仮 八重山病院（定員30名）

①テーマ：仮 「地域包括ケアについて」

講 師：調整中

備 考：新人教育プログラム未修了者→ 「C-5 地域リハビリテーション」 読替1単位取得

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイント取得

②テーマ：仮 「肩・腰の解剖／運動学」

講 師：調整中

備 考：新人教育プログラム未修了者 → 「C-2 運動器疾患の理学療法」 読替1単位取得

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイント取得

受講費：会員2,000円（1テーマ 各1,000円）

【申込先】 yaeyamarh@gmail.com

【件 名】 「第7回沖縄理学療法講習会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③勤務先、④メールアドレス

【問合せ先】 かりゆし病院 リハビリテーション科（担当：平地理美）

※第4・5回講習会と第6・7回講習会は申込先が異なります。各講習会についてご確認の上、お間違えの無いようにお願いします。

## 沖縄県理学療法士協会主催 研修・講習会

### 平成26年度 臨床実習・教育指導者研修会

日時：平成27年2月15日（日）10：00～13:00

会場：仮）沖縄リハビリテーション福祉学院（定員100名）※定員に達し次第締切ります

テーマ：医事法からみた理学療法の職能倫理

講師：野崎和義（九州看護福祉大学）

【書籍・出版物】医療・福祉のための法学入門（ミネルヴァ書房 2013）  
コ・メディカルのための医事法学概論（ミネルヴァ書房 2011）  
福祉法学（ミネルヴァ書房 2013）

受講費：会員2,000円、会員外5,000円

備考：新人教育プログラム未修了者 → 「E-1 臨床実習指導方法論」読替1単位

新人教育プログラム修了者 → 専門・認定理学療法士制度の10ポイント取得

【申込先】 ptgaku@gmail.com 【件名】 「指導者研修会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③勤務先、④メールアドレス、⑤職種（PT以外の場合）

【問合せ先】 与那原中央病院リハビリテーション科（研修担当：平山良樹）

TEL：098-945-8101/FAX：098-945-8106

### 平成26年度 臨床理学療法研究会

日時：平成27年3月21日（土）15：00～18:00

会場：仮）沖縄リハビリテーション福祉学院（定員40名）※定員に達し次第締切ります

テーマ：仮）動作分析を用いた理学療法

講師：現在、調整中 受講費：会員1,000円、会員外5,000円

【申込先】 opta.labo@gmail.com 【件名】 「臨床理学療法研究会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③勤務先、④メールアドレス、⑤経験年数

【問合せ先】 沖縄リハビリテーション福祉学院（研修担当：久高将臣）

TEL：098-946-1000/FAX：098-946-1999

### 第3回 医療英会話教室のご案内

今回は、米国で理学療法士資格を取得され国内外でもご活躍されている「宮城嗣高」先生を招き、実用的な医療英会話スキルについて指導をしていただきます。「医療現場でも使える英会話」を目指している先生方は多くいらっしゃると思いますので、この機会に英語のスキルアップしてみたいかかでしょうか。

【テーマ】 『使える医療英会話を学ぶ』～米国での経験や実際の間診を学ぼう～

【講師】 宮城 嗣高 先生

【日時】 2月21日（土） 19:00～21:00

【場所】 翔南病院（2Fリハ室/4F会議室）※講師都合により会場の変更あり

【参加費】 会員：無料 非会員 ¥1,000

【申し込み及び問い合わせ先】 intl.opta@gmail.com（国際支援部：喜屋武）

【申し込み内容】 件名に「第3回医療英会話教室申し込み」とご記入ください。

氏名 ②所属先 ③連絡先（連絡が取れるもの）

【締切】 2月19日（水） ※20名程度を予定しています

参加者には終了後にアンケートのご記入をお願いしています。

### 訪問リハビリテーション 研修会

『学ぶ! 訪問リハビリテーションの実践～地域包括ケアの中で光る訪問リハビリの役割・視点・技術～』

共催団体： 沖縄県理学療法士協会・沖縄県作業療法士・沖縄県言語聴覚士会

日時：平成27年3月7日（土）8日（日）

時間：1日目3月7日13時00分～17時30分（受付12時30分開始）

2日目3月8日09時30分～17時00分（受付09時15分開始）

会場：ちゅうざん病院（沖縄県沖縄市松本6-2-1）

対象：PT,OT,ST在宅リハビリに興味のある方・ケアマネ・訪看・ヘルパーさん大歓迎です。

参加定員：50名（定員に達し次第、受付を終了いたします）

参加費（2日間）：PT/OT/ST県士会会員 1000円

県士会非会員 2000円

リハ職以外の方 500円（資料代として）

\*1日のみの参加でも上記の参加費となります。

申し込み：下記の内容を記載の上、メールにてお申し込み下さい。

①氏名（フリガナも含む）②所属と事業所の所在市町村③職種、④経験年数、⑤訪問リハビリ経験年数⑥県士会 会員・非会員、⑦協会会員番号⑧生年月日（会員番号の照会補助手段として必要）⑨平成27年3月7日・8日の両日参加の有無

申し込みE-mail：houmonreha58@gmail.com

申し込み期限：2月28日（土） 17：00 締め切り

担当（問い合わせ先）：訪問リハビリテーション実務者研修実行委員会事務局 PT桑江睦子（大道中央病院）メールにて送信下さい。

2日間の研修修了者（10時間）には受講証明書を発行致します。（県士会会員に限ります）。

平成27年度の「訪問リハビリテーション管理者養成研修会 STEP1（訪問リハ振興財団主催）」の受講条件には、前年度（平成26年度開催）までの実務者研修会受講証明書を取得されていることが、必須条件となります。受講予定の方は是非、ご参加下さい。

プログラム

3月7日（土）

12:30 受付開始

13:00 ①訪問リハビリ振興財団からの報告 ②訪問リハビリに必要な心構え ③リスク管理について  
バイタルサインと各疾患の特徴 ④危険予知トレーニング

17:30 終了

3月8日（日）

9:15 受付開始

9:30 ⑤地域包括ケアシステムの概要 ⑥訪問リハビリ実践報告

12:00 昼食 ⑦次年度の介護保険改定について ⑧連携についてのロールプレイ演習

17:00 終了

※予定のプログラムは変更になることがあります。予めご了承下さい。

## 日本理学療法士協会主催 研修・講習会

新人教育プログラム e-ラーニングで修了しよう！

対象：4年目以上の新人教育プログラム履修中の会員

テーマ：新人教育プログラムB・D・Eのテーマ ※テーマA・Cは所属士会の研修会または理学療法士講習会基本編を受講してください。

申し込み方法：「セミナー・講習会情報閲覧」または「マイページ」よりお申込みください。

受講費：8,640円（6か月間）

期 間：平成26年7月1日～平成27年2月28日

受講期間：申込月～6か月間

日本理学療法士協会研修部主催 理学療法士講習会（基本編 理論）開催のお知らせ

タイトル：内部障害に対する理学療法の進め方の基本（沖縄）

日 時：平成27年3月1日（日曜）開催（予定）

場 所：沖縄リハビリテーション福祉学院五階視聴覚室（予定）

（沖縄県与那原町字板良敷1380-1 TEL098-946-1000）<http://omoto-okiriha.ac.jp/>

講師（所属）：比嘉優子（沖縄リハビリテーション福祉学院）

長嶺敦司（ハートライフ病院）

大重 匡（鹿児島大学医学部保健学科）



定員 95名

内 容：循環器疾患、呼吸器疾患および代謝疾患（糖尿病）を主疾患、合併症（併存症）および既往症に持つ患者に対する理学療法を進める際に、必要とされるフィジカルアセスメントの基本を教示する。また、このフィジカルアセスメントをもとにして、理学療法を進める際のリスク管理について教示する。

受講費：2,000円 申込受付期間：平成26年12月22日～平成27年2月21日

申し込みは、日本理学療法士協会ホームページより右上の緑のマイページよりご自分のIDとパスワードを入力後、メニューの研修会・学術大会から受講申込登録をクリックし理学療法士講習会（基本編理論）をクリックして「内部障害に対する理学療法の進め方の基本（沖縄）」を選択して申し込みください。受講の決定は先着順とします。

\*キャンセルに関して：キャンセルは認められません。また、受講の権利を他の方へ移譲することも出来ませんので、ご注意ください。

プログラム：

9時～9時30分 受付

9時30分～12時40分（10分休憩含む）循環器編 鹿児島大学医学部 大重匡

12時40分～13時30分 昼食

13時30分～15時00分 呼吸器編 沖縄リハビリテーション福祉学院 比嘉優子

15時00分～15時10分 休憩

15時10分～16時40分 代謝編 ハートライフ病院 長嶺敦司

16時40分～17時00分 修了証の発行

\*最初から最後まで受講された方には、修了証を発行します。

\*新人教育プログラムでは、「C-3内部障害の理学療法」の単位認定となります。

\*新人教育プログラムを終了した方の受講は、生涯学習のポイントになります。詳細は申し込み時に領域別有効設定でご確認下さい。

\*受講者用公文書（PDF）は、日本理学療法士協会のホームページにあります。会員専用ページをクリックし、ご自分のIDとパスワードを入力後、左の欄【学術関連】→出張申請書ダウンロードをクリック、2015.3.8 内部障害に対する理学療法の進め方の基本（沖縄）のPDFファイルを使用して下さい。

問い合わせ先：〒904-0103 沖縄県中頭郡北谷町字桑江400番地の2

（株）琉球メディカルズ 通所介護事業所 新垣盛宏 TEL：098-926-2430 FAX：098-936-5833

### 平成26年度 九州ブロック現職者講習会のご案内

日 時：平成27年 2月21日（土曜日） 13:30～17:30

平成27年 2月22日（日曜日） 09:30～12:30

会 場：ちゅうざん病院（5階ホール）〒904-2151 沖縄県沖縄市松本6-2-1

テーマ：「理学療法研究に必要な統計学について」

講 師：対馬 栄輝（ツシマ エイキ）先生（弘前大学大学院保健学研究科）

※受講者が新人教育プログラム未修了者の場合「B-3 統計方法論」に読み替えて1単位が取得できません。新人教育プログラム修了者の場合、専門・認定理学療法士制度の10ポイントが取得できます。

受講料：無 料

※研修会開催時点で日本理学療法士協会 九州ブロック会（九州各県士会）会員が対象（研修会当日は会員カードをご提示下さい）

定 員：100名 ※締め切り日までに下記へお申し込みください。

申込方法：下記の項目を明記して、E-mailでお申し込み下さい。

件名：平成26年度九州ブロック現職者講習会申し込み

①氏名（ふりがな）②所属施設名③県名④会員番号⑤経験年数⑥受付可否の連絡先（PCアドレスのみ）

※携帯アドレスは避けて下さい（個人設定により受信されない場合があります）

※申込については、各施設まとめてお願い致します。

申込・問合せ先：〒904-2151 沖縄県沖縄市松本6-2-1番地

医療ちゅうざん会ちゅうざん病院 リハビリテーション部 與儀 哲弘

E-mail:gensyoku2014@chuzan.or.jp Tel:098-982-1346 Fax:098-982-1347

申込締切：平成27年2月10日（火）※定員となり次第締め切りとさせていただきます。

## 他団体主催 研修・講習会

### 「NPO沖縄呼吸ケア研究会」定例勉強会のご案内

日時：2015年2月6日(金)・3月6日(金) 19:00～20:00 ※毎月第一金曜日  
場所：那覇市立病院3階講堂 参加費：無料  
お問い合わせ：090-5723-2438 (宮平)  
沖縄呼吸ケア研究会ホームページ：<http://orcm.jimdo.com/>  
※現在、会員募集しています！興味のある方は是非上記連絡先までご連絡下さい！

### 「沖縄クリティカルケアリハビリテーション研究会」定例勉強会のご案内

日時：2014年2月28日(土)・3月28日(土) 19:00～20:00 ※毎月第四土曜日  
会場：那覇市立病院リハビリテーション室(モノレール側棟地下1階) 参加費：無料  
お問い合わせ(代表世話人)：那覇市立病院098-884-5111 (リハビリテーション科 安村) または宮平携帯  
(090-5723-2438) まで

### 沖縄物理医学研究会 講習会Part12

テーマ「膝部の障害に対する理学療法・作業療法」

今回、3月に沖縄県内にて「治療的運動技術 パート1」として関節内運動を応用した治療技術の講習会を行います。今回は膝部の障害に対する検査から治療までの流れと実際の治療法に至るまで教授していただく予定になります。初めての先生方にもわかりやすく指導していただける内容になっております。臨床で(痛み)(拘縮)(筋力低下)の治療にお悩みの先生方は是非ご参加ください。

期 日：平成27年3月29日(日) 時 間：9:00～15:30(予定)

講 師：長井 淳一先生 (桃山整形外科 理学療法士)

受講費：5000円 会場：現在調整中 対象：理学療法士・作業療法士 主催：沖縄物理医学研究会

<申し込み先>

①氏名②ふりがな③性別④職種⑤免許取得年⑥所属施設⑦PDFが確認できるメールアドレス⑧常時連絡可能な電話番号以上8項目を記載のうえ下記アドレスにお申し込み下さい。E-mail: okinawapmr@yahoo.co.jp  
沖縄物理医学研究会 事務局 ごきげん整形クリニック 渡久地 里奈 連絡先090-6864-7042

### 「\*沖縄PNF勉強会 特別セミナー\*

主催：沖縄PNF勉強会 会場：沖縄リハビリテーションセンター病院

日程：3月1日(日) 9:00(受付8:30)～17:00

講師：勝浪 省三先生(国際PNF協会認定インストラクター)

助手：小林健二・儀間敬人(国際PNF協会認定セラピスト)

内容：「PNF&activity」activityへのアプローチ方法は多種多様あります。より効果的な促通方法を学習するセミナーです。受講料7,000円 定員：30名

申し込み方法：Eメールでの申し込みにてお願いいたします。記載内容：件名に「沖縄PNF勉強会 特別セミナー」と記載してください。メッセージ欄に・氏名 ・職種 ・所属先 ・緊急時電話番号

E-mail: okinawapnf@yahoo.co.jp

問い合わせ先：パークヒル天久(098)868-4108 儀間敬人

### 第1回沖縄運動器研究会学術集会

【日程】平成27年3月8日(日) 9:30～15:00 【テーマ】「運動器疾患の評価と治療の選択」

「上肢機能の評価と治療の選択～肩関節疾患の捉え方～」

沖縄リハビリテーションセンター病院 島袋 雄樹

「TKA術後急性期における評価と治療の選択」豊見城中央病院 中村 早智子

「身体における股関節の評価と治療の選択」沖縄こどもとおとなの整形外科 嶺井 大輔

「体幹-近隣関節機能不全に対する評価と治療の選択」ロクト整形J2 名護 零

【会場】浦添市てだこホール 市民交流室

【受講費】2000円 【定員】80名限定

【申し込み】メールにて①氏名、②所属先、③経験年数、④連絡先(PCメール)を明記のうえ、件名に「第1回運動器研究会」と記載してお申込みください。

申し込み先: oki\_undouki@yahoo.co.jp 担当: 波多野 弘樹

## 沖縄CNS（中枢神経系）ネットワーク研修会のご案内

テーマ：『中枢神経疾患における評価と治療～hands onによる臨床推論を中心に～』

講師：三橋 弘昌 先生 神戸リハビリテーション病院 理学療法士

日時：平成27年3月28日（土）9：30～17：30（受付9：00）

会場：とよみの杜 大浜第二病院 2階 ふれあいセンター

主催：沖縄ボバース勉強会 定員：60名 対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

主な内容：講義・実技・臨床推論（ワークショップ） 受講締切り：平成27年2月27日（金）

受講費：5,000円

申込み方法

①事務局メールのokibobath@yahoo.co.jpまで下記の項目を記載して頂き申し込みをお願い致します。

件名：第12回沖縄ボバース研修会受講申し込み

I. 施設名 II. 氏名 III. 職種 IV. 経験年数 V. 基礎講習会修了有無 VI. PCから返信可能なメールアドレス VII. 懇親会参加有無

②受講費は、口座振込でお願い致します。口座番号は受講決定後にメールにてお知らせ致します。

〈申し込み・問い合わせ〉

大浜第二病院リハビリテーション科 沖縄CNSネットワーク 事務局 末吉恒一郎 長嶺元昭 屋富祖司  
棚原竜一郎 住所：〒901-0215沖縄県豊見城市渡嘉敷150

TEL：098-851-0103 FAX：098-851-0200E-mail：okibobath@yahoo.co.jp



## 広報部便り

本誌へ研修会案内の掲載をご希望の場合は、当会HPより「広報誌掲載申込書」をダウンロードし、申込書へ必要事項を記入後、当協会事務局まで郵送して頂きますようお願いいたします。尚、掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日締切で翌月号への掲載となります。★掲載内容は概ね300字を目安としています。

[沖縄県理学療法士協会HP <http://www.oki-pt.jp>]

【研修案内に関する問い合わせ】 沖縄県理学療法士協会事務局098-930-5023（月～金曜日9：00～18：00担当：比嘉）[optaoffice@oki-pt.jp](mailto:optaoffice@oki-pt.jp)

### 【広報部員募集】

広報部では当協会の活動の取材をし、広報誌の作成に携わる部員（会員）を募集しています。学術活動だけでなく、様々な活動を通して新たなネットワークも作れます。お気軽にご応募下さい。部会の見学だけでもOKです。 事務所：098-930-5023

[optaoffice@oki-pt.jp](mailto:optaoffice@oki-pt.jp)

### 【広報誌HP掲載案内】

本誌は月末に印刷し、月初発行となっております。送付における期間に地域差が生じるケースもあり、皆様には大変ご迷惑をおかけしています。申し訳ありません。本誌は送付前にホームページへ掲載しておりますのでそちらをご利用していただくことをお勧めします。

## 平成27年4月特養民営化 ～リハスタッフ募集～

募集職種：理学療法士又は  
作業療法士1名  
言語聴覚士1名

雇用形態：正職員

勤務時間：8時30分～17時30分

給与条件：当社規程に準ずる

休日：月9回

待遇：賞与年2回、各種手当  
各種社会保険完備

募集方法：電話連絡の上、  
履歴書持参

## 社会福祉法人喜寿会 福寿園移管準備室

〒901-2205宜野湾市赤道2-7-2（福寿園内）

090-3792-8900（担当/川満）



## よしかわ整形クリニック 理学療法士募集

カフェみたいなクリニックで楽しく  
働いてみませんか？



募集人員： 1名  
勤務場所： よしかわ整形クリニック  
糸満市字真栄里2031-4(糸満市役所近く)

勤務時間： 9:00～18:00 日曜・祝祭日 月1回の特別休暇  
木曜日 9:00～12:30 土曜日 9:00～16:00

給与： 当院規定に準ずる 各種手当 夏季・冬季賞与

待遇： 正社員 社保完備

勤務形態等相談に応じます。お気軽に面談下さい。  
電話連絡お待ちしております。

**YOSHIKAWA** **整形** **クリニック**  
Orthopaedic CLINIC

糸満市真栄里2031-4 098-995-2525

## 理学療法士・作業療法士 募 集

募集職種：理学療法士・作業療法士

募集人員：若干名

雇用形態：正職員

業務内容：外来・通所・訪問リハビリ  
テーション

就業時間：午前8時30分～17時30分

給与条件：経験能力を考慮の上優遇

学 歴：専門学校以上

休 日：日 祝 他

（その他の場合※当施設の勤務割表による  
土曜日出勤もあります。）

応募方法：電話連絡の上、履歴書を送付し  
てください。後日、調整して面接を行います。

## 医療法人タピック スポーク・クリニック

〒905-0007名護市字屋部117番地

0980-52-7775